

# 公共事業等新規事業評価調書

部課室名	県土整備部 まちづくり局 公園緑地課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	公園緑地課長 中川 晋 (主幹兼国営公園係長 青木 輝政)	内 線	4 4 9 2
------	--------------------------	---------------------	----------------------------------	-----	---------

事業種目	都市公園事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2 4 億円
		県立佐野運動公園整備事業	津名郡津名町		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
津名郡津名町				平成 1 3 年度	平成 1 5 年度
事業目的			事業内容		
自然環境に調和した快適な生活空間と多彩な交流空間の形成を目指す淡路公園島構想の一環として、また淡路地域のスポーツ振興や各種大会の開催に対応するため、野球場、サッカー場等を配置した運動公園を整備する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積 約 2 9 . 5 ha</li> <li>・野球場 (第 1 球場、第 2 球場)</li> <li>・サッカー場 (整備済。)(第 1 グラウンド、第 2 グラウンド、第 3 グラウンド)</li> <li>・多目的グラウンド 等</li> </ul>		

評価視点	
(1) 必要性 安全・安心  快適・ゆとり  地域の活性化  地域ニーズ  その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本公園は、市街地に隣接しており、災害時には避難地として地域の防災機能の向上が図れる。</li> <li>・「淡路公園島構想」「あわじ花回廊構想」推進の一環として、スポーツ施設の整備とともに、海を望む散策路・芝生広場等の緑地を整備することにより、自然環境と調和したアメニティ豊かな空間が創出できる。</li> <li>・野球場や多目的グラウンドを既存のサッカー場と一体整備することにより、野球やサッカーの全国、県レベルの大会等の誘致が可能となり、地域内外の交流が図れる。</li> <li>・特に野球については、全国野球少年大会、世界野球少年大会等の少年野球を中心とした大会を誘致することにより、本公園が少年スポーツの拠点となり地域活性化が図れる。</li> <li>・淡路地域は、野球をはじめスポーツ活動の活発な地域であるが、野球場の施設整備率は県内で最も低い(10万人当たりの施設数 全国：5.02箇所、兵庫県：2.01箇所、淡路0.62箇所)</li> <li>・淡路1市10町、県軟式野球連盟、県中学校体育連盟、県高等学校野球連盟等から佐野地区埋立地の運動公園整備の要望書が出されている。</li> <li>・全国少年野球大会や世界少年野球大会が開催できる野球場の整備について、特に少年野球指導者等から強い要望がある。</li> <li>・本公園を整備することにより、県民一人当たり公園面積は約0.06㎡/人増加し、緑の確保に貢献する。</li> <li>・津名町は、本公園内のサッカー場を利用して平成14年開催の“2002FIFAワールドカップ”のキャンプ地として立候補している。</li> <li>・平成18年開催の夏期国体少年サッカー会場として本公園内サッカー場が予定されている。</li> </ul>
(2) 有効性・効率性 有効性  効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国、県大会レベルの公式大会については、各運動施設で機能分担する必要がある。現在地域大会等の開催できるスポーツ施設が少ない淡路地域に本公園(年間利用者数：約18万人)を整備することにより、バランスの取れた運動施設の県内配置が図れ、淡路地域でのスポーツ振興、地域大会の開催にも資することができる。</li> <li>費用対効果 B / C = 1 . 5</li> <li>・既存のサッカー場3面が活用でき、効率的な整備となる。</li> <li>・関係機関で「管理運営協議会」を設置し、大会誘致等のソフト部分に取り組み、利用促進を図る。</li> </ul>
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水の再利用、太陽電池照明器具の採用等、自然エネルギーの活用を推進する。</li> <li>・エコ-サテ-ザ-インを採用し、高齢者、障害者にも使いやすい公園を提供する。</li> <li>・記念植樹の場を提供し、県民参加による公園づくりを行う。</li> </ul>
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津名町は本公園内サッカー場を平成14年開催のワールドカップのキャンプ地として立候補しており、平成18年開催の夏期国体少年サッカー会場にも予定されていることから早急に整備する必要がある。</li> </ul>

評価の結果		左の理由	
-------	--	------	--